

366年前の新井用水に水を送る!!

～社会見学として播磨町立蓮池小学校の皆さんを案内しました～

—姫路河川国道事務所—

「新井(しんゆ)用水」は、今里伝兵衛の発起により1656年に完成した約14kmの用水路です。当時、ため池に頼っていた干ばつの続く印南野台地へ、加古川から水を引くために計画されました。何度も改修を重ねましたが、現在では、加古川大堰から取水を行い、加古川市から播磨町までの田畑を潤しています。

「新井用水」と水の大切さを学ぶため、新井用水のスタート地点である加古川大堰を地元の蓮池小学校の皆さんが社会見学として訪れました。

日時：令和4年10月26日(水)、10月27日(木)

対象者：播磨町立蓮池小学校 4年生 123名 (2日間)

見学内容：DVD鑑賞(加古川大堰の紹介)、現場見学(主ゲート、魚道ゲート、取水口等)

アマゴッチ



位置図



10/26(水)



▲管理橋から見学



▲魚道に魚いるかな?

10/27(木)



▲DVDで大堰の勉強



▲児童からお礼の言葉

～児童からの質問～

Q:加古川大堰をつくるのにいくらかかりましたか? (A:約400億円で、9年かけて完成しました)

Q:橋の長さとはさは? (A:管理橋の長さは約420m、川底から橋までの高さは約13m)

Q:何人で働いていますか? (A:普段の日は8人、夜間休日も1人は必ずいます) など



オオゼケン

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局

姫路河川国道事務所 河川管理第二課 (加古川分室)

〒675-1205 加古川市八幡町中西条875-1 TEL 079-438-0207

話そう
はりま

